景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式

調査時点　令和4年3月1日発送
　　令和4年3月10日投函期限

調査対象　信用保証利用先1,500企業

有効回答数　412 企業（回答率　27.5% ）

※ 当期：R04年1月～3月実績見込
次期：R04年4月～6月期予測

【DI値について】

◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています

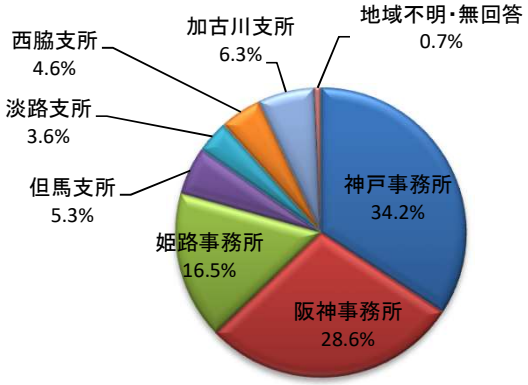
◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

Ⅰ．貴社の概要について

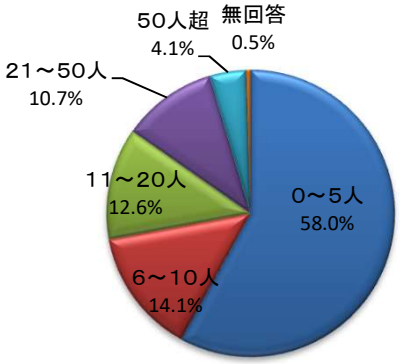
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	141	34.2%
阪神事務所	118	28.6%
姫路事務所	68	16.5%
但馬支所	22	5.3%
淡路支所	15	3.6%
西脇支所	19	4.6%
加古川支所	26	6.3%
地域不明・無回答	3	0.7%
合計	412	100.0%



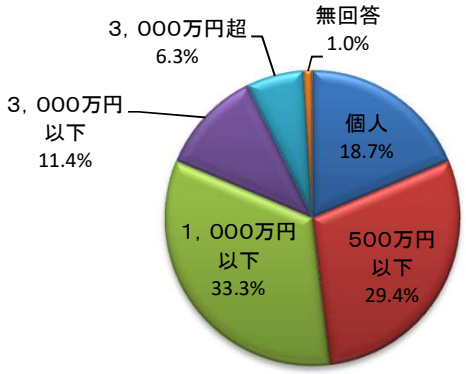
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	239	58.0%
6～10人	58	14.1%
11～20人	52	12.6%
21～50人	44	10.7%
50人超	17	4.1%
無回答	2	0.5%
合計	412	100.0%



資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

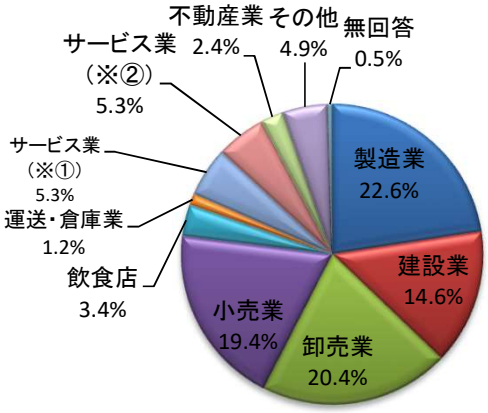
資本金	回答数	構成比
個人	77	18.7%
500万円以下	121	29.4%
1，000万円以下	137	33.3%
3，000万円以下	47	11.4%
3，000万円超	26	6.3%
無回答	4	1.0%
総計	412	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	93	22.6%
建設業	60	14.6%
卸売業	84	20.4%
小売業	80	19.4%
飲食店	14	3.4%
運送・倉庫業	5	1.2%
サービス業（※①）	22	5.3%
サービス業（※②）	22	5.3%
不動産業	10	2.4%
その他	20	4.9%
無回答	2	0.5%
合計	412	100.0%

※① 事業者を対象
※② 一般消費者を対象



Ⅱ．貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

（1）当期（22年1～3月期）は、前期（21年10～12月期）に比べどのような状況ですか。
（2）次期（22年4～6月期）は、当期（22年1～3月期）に比べどう思いますか。

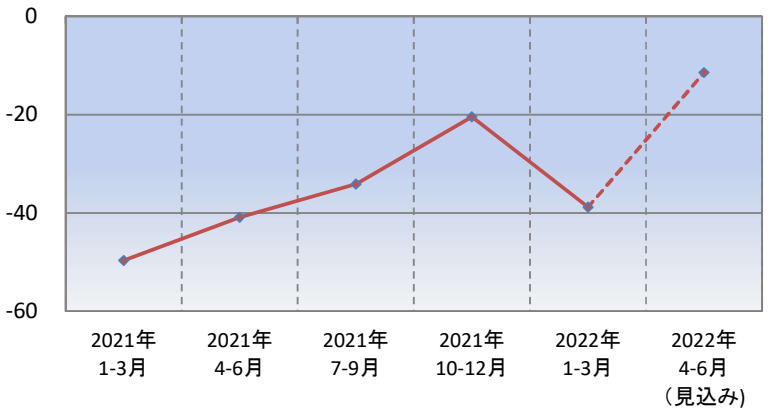
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	59	14.3%
変わらない	134	32.5%
減少した	219	53.2%
無回答	0	0.0%
総計	412	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	94	22.8%
変わらないと思う	177	43.0%
減少すると思う	141	34.2%
無回答	0	0.0%
総計	412	100.0%



生産・売上DI（増加－減少）

調査時期（実績）	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月	2022年 1～3月	2022年 4～6月（見込み）
兵庫県	▲ 36.9	▲ 72.3	▲ 43.9	▲ 36.6	▲ 49.7	▲ 40.9	▲ 34.2	▲ 20.4	▲ 38.8	▲ 11.4

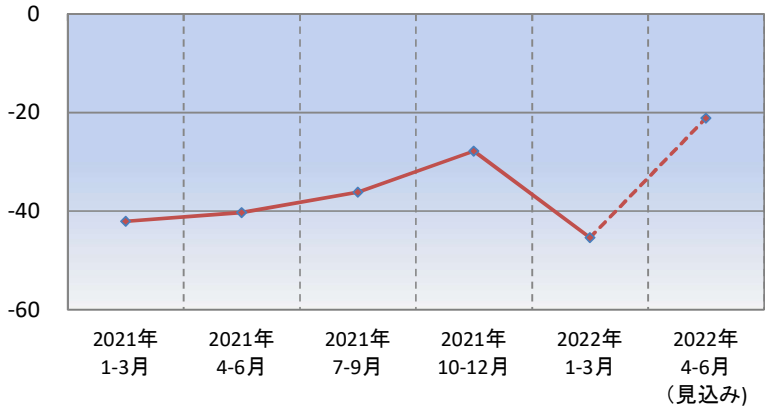
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	26	6.3%
変わらない	172	41.7%
悪化した	213	51.7%
無回答	1	0.2%
総計	412	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	68	16.5%
変わらないと思う	189	45.9%
悪化すると思う	155	37.6%
無回答	0	0.0%
総計	412	100.0%



採算DI（好転－悪化）

調査時期（実績）	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月	2022年 1～3月	2022年 4～6月（見込み）
兵庫県	▲ 36.6	▲ 67.3	▲ 40.4	▲ 35.6	▲ 42.1	▲ 40.3	▲ 36.2	▲ 27.8	▲ 45.4	▲ 21.1

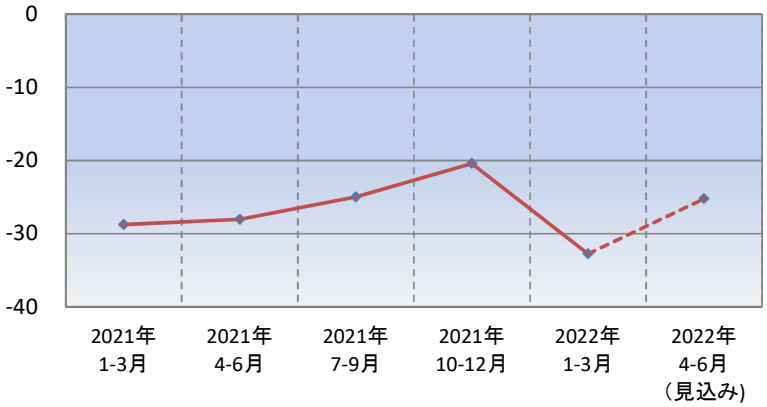
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	21	5.1%
変わらない	235	57.0%
悪化した	156	37.9%
無回答	0	0.0%
総計	412	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	29	7.0%
変わらないと思う	250	60.7%
悪化すると思う	133	32.3%
無回答	0	0.0%
総計	412	100.0%



資金繰りDI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月	2022年 1～3月	2022年 4～6月 (見込み)
兵庫県	▲ 24.9	▲ 49.0	▲ 21.8	▲ 21.9	▲ 28.8	▲ 28.1	▲ 25.0	▲ 20.4	▲ 32.8	▲ 25.2

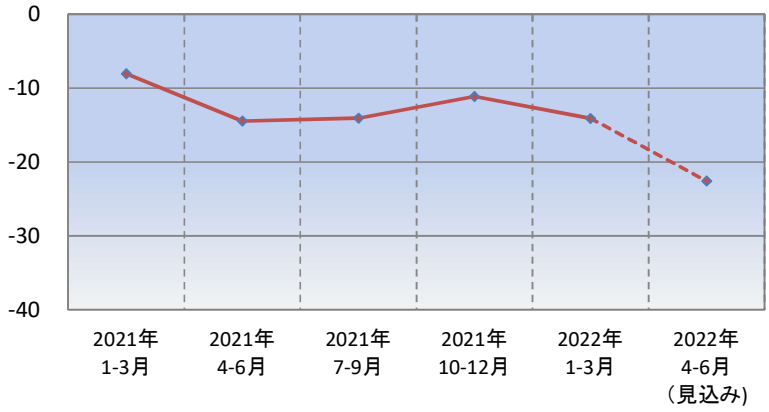
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	22	5.3%
変わらない	307	74.5%
難しくなった	80	19.4%
無回答	3	0.7%
総計	412	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	15	3.6%
変わらないと思う	289	70.1%
難しくなると思う	108	26.2%
無回答	0	0.0%
総計	412	100.0%



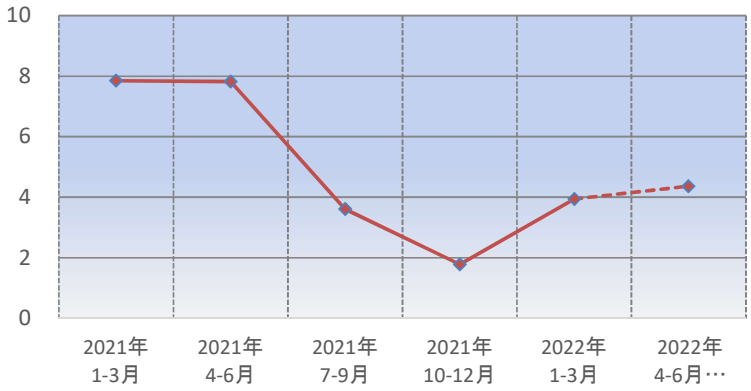
借入難易感DI(容易－難しい)

調査時期(実績)	2020年 1～3月	2020年 4～6月	2020年 7～9月	2020年 10～12月	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月	2022年 1～3月	2022年 4～6月 (見込み)
兵庫県	▲ 10.6	▲ 1.8	5.5	▲ 0.6	▲ 8.0	▲ 14.4	▲ 14.1	▲ 11.1	▲ 14.1	▲ 22.6

当期(1-3月)のDI値については、「生産・売上」「採算」「資金繰り」「借入難易感」の全ての項目において、前回調査(10-12月)に比べ悪化しました。
次期(4-6月)のDI値については、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において、当期(1-3月)に比べ改善し、「借入難易感」の項目については、当期(1-3月)に比べ悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】
次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	66	16.0%
変わらないと思う	297	72.1%
弱まると思う	48	11.7%
無回答	1	0.2%
総計	412	100.0%



信用保証付要請DI（強まる－弱まる）

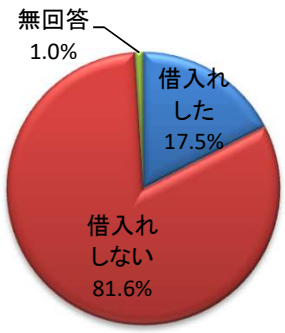
調査時期（見込み）	2019年 10～12月（1～3月）	2020年 1～3月（4～6月）	2020年 4～6月（7～9月）	2020年 7～9月（10～12月）	2020年 10～12月（1～3月）	2021年 1～3月（4～6月）	2021年 4～6月（7～9月）	2021年 7～9月（10～12月）	2021年 10～12月（1～3月）	2022年 1～3月（4～6月）
兵庫県	4.3	7.6	6.3	4.1	7.8	7.8	3.6	1.8	3.9	4.4

金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期（22年1～3月期）の借入れ（実績見込）についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

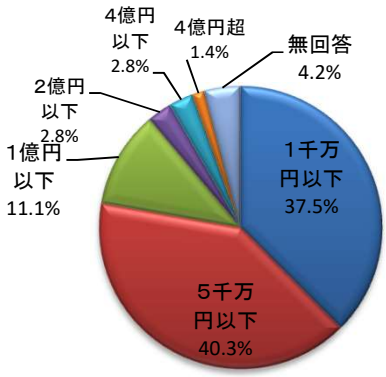
	22年1～3月期		21年10～12月期	21年7～9月期	21年4～6月期	21年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	72	17.5%	22.0%	20.3%	24.2%	31.3%
借入れしない	336	81.6%	76.3%	79.5%	74.1%	68.1%
無回答	4	1.0%	1.6%	0.2%	1.6%	0.6%
総計	412	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入れは、前回調査と比べ、4.5ポイント減少しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

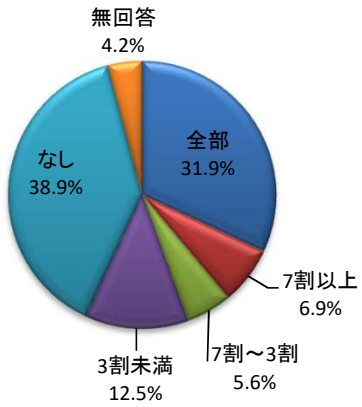
	22年1～3月期		21年10～12月期	21年7～9月期	21年4～6月期	21年1～3月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	27	37.5%	38.9%	33.0%	47.1%	33.1%
5千万円以下	29	40.3%	40.0%	39.6%	33.9%	45.3%
1億円以下	8	11.1%	6.3%	8.8%	11.6%	11.5%
2億円以下	2	2.8%	6.3%	5.5%	4.1%	2.7%
4億円以下	2	2.8%	1.1%	1.1%	0.8%	2.0%
4億円超	1	1.4%	2.1%	2.2%	0.0%	0.7%
無回答	3	4.2%	5.3%	9.9%	2.5%	4.7%
総計	72	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入総額は「1千万円以下」「5千万円以下」の合計が77.8%となり、構成比の大半を占めています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

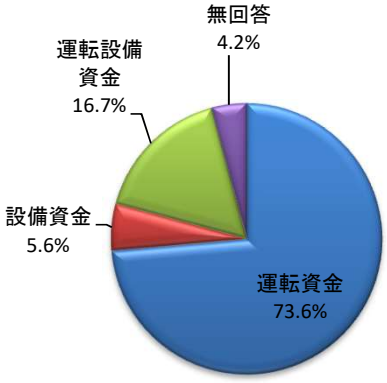
	22年1～3月期		21年10～12月期	21年7～9月期	21年4～6月期	21年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	23	31.9%	34.7%	37.4%	43.0%	44.6%
7割以上	5	6.9%	5.3%	3.3%	9.1%	9.5%
7割～3割	4	5.6%	16.8%	18.7%	14.0%	9.5%
3割未満	9	12.5%	5.3%	5.5%	6.6%	8.1%
なし	28	38.9%	32.6%	25.3%	22.3%	23.0%
無回答	3	4.2%	5.3%	9.9%	5.0%	5.4%
総計	72	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が2.8ポイント減少し、「なし」とする回答が6.3ポイント増加しました。

当期借入金の目的は何ですか。

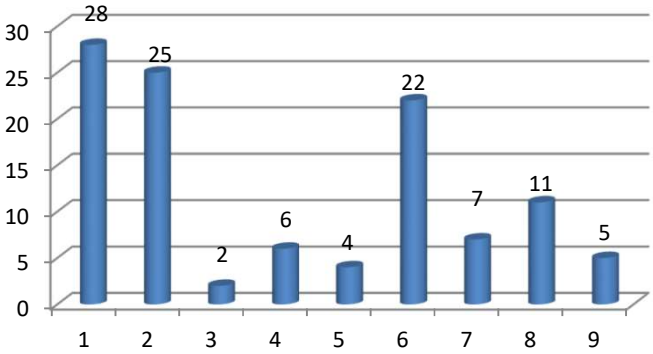
選択肢	回答数	構成比
運転資金	53	73.6%
設備資金	4	5.6%
運転設備資金	12	16.7%
無回答	3	4.2%
総計	72	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか（複数回答）。

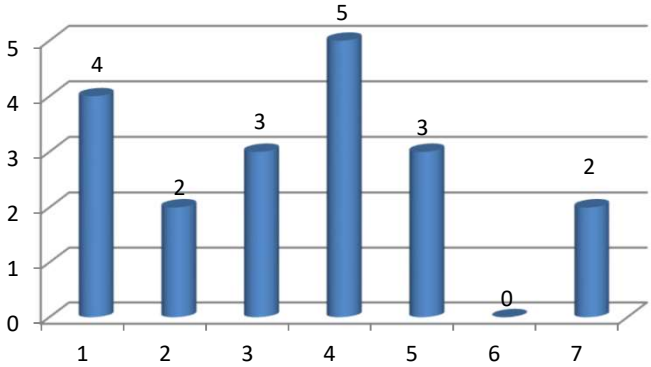
選択肢		回答数
1	***既往借入の借換え***	***28***
2	売上減少・赤字補填	25
3	過剰在庫対応	2
4	支払条件短縮対応	6
5	回収条件悪化対応	4
6	売上増加運転資金	22
7	在庫積み増し	7
8	季節運転資金	11
9	その他	5
総計		110



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上減少・赤字補填」「売上増加運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか（複数回答）。

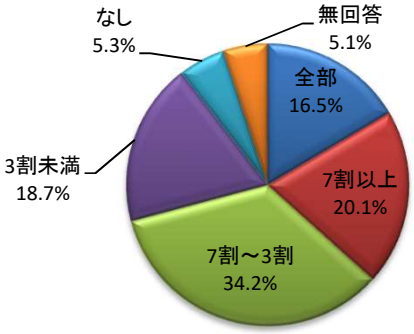
選択肢		回答数
1	新規事業	4
2	生産増強	2
3	合理化・効率化	3
4	設備老朽化に伴う入替	5
5	修理・修繕	3
6	公害防止・環境関連	0
7	その他	2
総計		19



設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が最も多く、次いで「新規事業」となっています。

Ⅳ. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末（22年3月末）借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

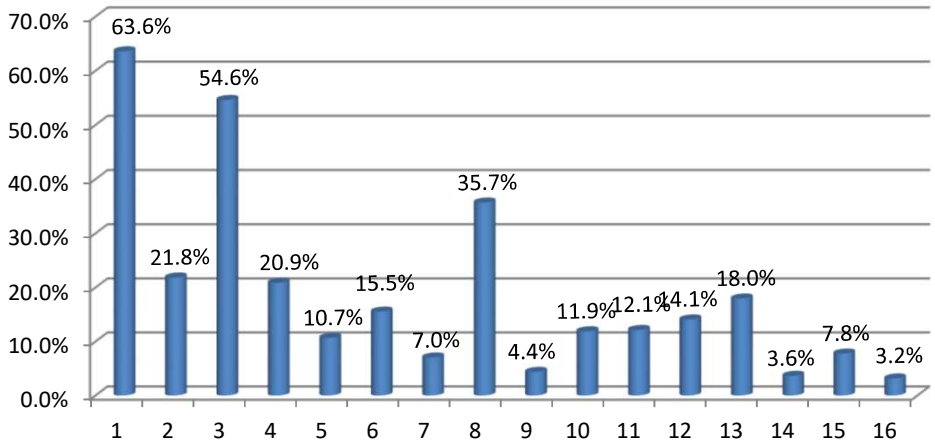
	22年1～3月期		21年10～12月期	21年7～9月期	21年4～6月期	21年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	68	16.5%	19.0%	20.8%	18.4%	17.3%
7割以上	83	20.1%	17.4%	20.5%	17.0%	20.7%
7割～3割	141	34.2%	35.5%	35.0%	35.1%	33.6%
3割未満	77	18.7%	15.8%	13.8%	16.2%	14.2%
なし	22	5.3%	7.0%	4.9%	6.4%	4.9%
無回答	21	5.1%	5.3%	4.9%	6.8%	9.3%
総計	412	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「7割以上」「3割未満」とする割合が増加し、
「全部」「7割～3」割「なし」とする割合が減少しました。

Ⅴ．その他（経営上の課題等）について該当する番号をご記入ください（複数回答）。

選択肢		回答数	回答割合	選択肢		回答数	回答割合
1	***売上・受注の減少***	***262***	***63.6%***	9	過剰在庫	18	4.4%
2	競争激化	90	21.8%	10	設備投資	49	11.9%
3	***コスト高***	***225***	***54.6%***	11	後継者難	50	12.1%
4	業界構造変化	86	20.9%	12	資金調達	58	14.1%
5	取引条件の悪化	44	10.7%	13	借入過多	74	18.0%
6	消費者ニーズの多様化	64	15.5%	14	為替	15	3.6%
7	技術・商品開発	29	7.0%	15	海外景気の減速	32	7.8%
8	***人材・労働力の確保***	***147***	***35.7%***	16	その他	13	3.2%



経営上の課題については、「売上・受注の減少」「コスト高」「人材・労働力の確保」が上位となっています。
次いで、「競争激化」「業界構造変化」「借入過多」の順となっています。